|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題：第一課　はじめまして、李正剛と申します。 | | コマ：10 |
| 教学目的 | 1．自己紹介を身につけること；  2．文法知識を身につけること；  3．よく使う単語を正しく使えるように；  4．文を通じて新しい表現を覚えると同時に日本語の能力を高めること。 | |
| 教学重点 | 1．文型「～は～です」、「～は～では（じゃ）ありません」、「～は～ですか」、「～と申します」。  2．「も」「の」の使い方  3．会話の内容 | |
| 教学難点 | 場所による自己紹介ができること | |
| 教学方法 | 教授法、グループディスカッション、練習法 | |
| 講義タイプ | 新しい講義内容、練習訓練 | |
| 講義プロセス | 一、ワォーミングアップ：  新鮮な日本語の材料を利用してちょっと聴解、会話の総合練習をして、授業を導入する。  二、新しい講義の内容を解説する。 1．本課の新しい言葉の勉強、難しい言葉を強調に説明する。 2．文法と文型を解説し、学生に日常での表現で例文を作らせる。  3．文法の説明とともにテキストの関係練習をやってもらう。 4．中文日訳の練習を共同にやる。  三、宿題  1．重要な表現と文型で文を作る。 2．テキストの会話文を覚える。  3．宿題をチェックの上もっと説明する内容を改めて説明する。 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題：第二課　これは誰のペンですか。 | | コマ：10 |
| 教学目的 | 1．尋ねることができる；  2．文法知識を身につけること；  3．よく使う単語を正しく使えるように；  4．文を通じて新しい表現を覚えると同時に日本語の能力を高めること。 | |
| 教学重点 | 1．文型「～はいくらですか」、「～の～です」。  2．会話の内容 | |
| 教学難点 | 「これ／それ／あれ」と「こちら／そちら／あちら」と「この／その／あの」の使い分け | |
| 教学方法 | 教授法、グループディスカッション、練習法 | |
| 講義タイプ | 新しい講義内容、練習訓練 | |
| 講義プロセス | 一、ワォーミングアップ：  新鮮な日本語の材料を利用してちょっと聴解、会話の総合練習をして、授業を導入する。  二、新しい講義の内容を解説する。 1．本課の新しい言葉の勉強、難しい言葉を強調に説明する。 2．文法と文型を解説し、学生に日常での表現で例文を作らせる。  3．文法の説明とともにテキストの関係練習をやってもらう。 4．中文日訳の練習を共同にやる。  三、宿題  1．重要な表現と文型で文を作る。 2．テキストの会話文を覚える。  3．宿題をチェックの上もっと説明する内容を改めて説明する。 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題：第三課　社会食堂は何時から何時までですか。 | | コマ：10 |
| 教学目的 | 1．語用技能を身につけること；  2．文法知識を身につけること；  3．よく使う単語を正しく使えるように；  4．文を通じて新しい表現を覚えると同時に日本語の能力を高めること。 | |
| 教学重点 | 1．文型「～から～までです」、「～は～ですか～ですか」。  2．会話の内容 | |
| 教学難点 | 1．「ここ/そこ/あそこ」と「こちら/そちら/あちら」の使い方。  2．時間の表現を身に付けること。 | |
| 教学方法 | 教授法、グループディスカッション、練習法 | |
| 講義タイプ | 新しい講義内容、練習訓練 | |
| 講義プロセス | 一、ワォーミングアップ：  新鮮な日本語の材料を利用してちょっと聴解、会話の総合練習をして、授業を導入する。  二、新しい講義の内容を解説する。 1．本課の新しい言葉の勉強、難しい言葉を強調に説明する。 2．文法と文型を解説し、学生に日常での表現で例文を作らせる。  3．文法の説明とともにテキストの関係練習をやってもらう。 4．中文日訳の練習を共同にやる。  三、宿題  1．重要な表現と文型で文を作る。 2．テキストの前文と会話文を覚える。  3．宿題をチェックの上もっと説明する内容を改めて説明する。 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題：第四課　駅の近くに本屋はありますか。 | | コマ：10 |
| 教学目的 | 1．語用技能を身につけること；  2．文法知識を身につけること；  3．よく使う単語を正しく使えるように；  4．文を通じて新しい表現を覚えると同時に日本語の能力を高めること。 | |
| 教学重点 | 1．文型「～は～に　あります／います」、「～に～が　あります／います」、「～に　～何か　ありますか/誰か　いますか」。  2．会話の内容 | |
| 教学難点 | 1．物や人の位置につい尋ねたり、述べたりすることができること。  2．「と」と「や」の使い分け | |
| 教学方法 | 教授法、グループディスカッション、練習法 | |
| 講義タイプ | 新しい講義内容、練習訓練 | |
| 講義プロセス | 一、ワォーミングアップ：  新鮮な日本語の材料を利用してちょっと聴解、会話の総合練習をして、授業を導入する。  二、新しい講義の内容を解説する。 1．本課の新しい言葉の勉強、難しい言葉を強調に説明する。 2．文法と文型を解説し、学生に日常での表現で例文を作らせる。  3．文法の説明とともにテキストの関係練習をやってもらう。 4．中文日訳の練習を共同にやる。  三、宿題  1．重要な表現と文型で文を作る。 2．テキストの前文と会話文を覚える。  3．宿題をチェックの上もっと説明する内容を改めて説明する。 | |
| まとめ | 教学重点・難点：  １、数字の読み方  ２、存在文の使い方  ユニットのまとめ：  1-4課のテストを見ると、数字の読み方が紛らわしくて、名詞と助詞の関係がしっかりしなくて、存在文の使い方が間違えやすくて、｢こそあど｣系列を正しく使うことができます。学生たちは日本語で簡単な自己紹介ができます。学生の学習態度は真剣で、積極的に先生と交流します。 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題：第五課　来週の会議はいつですか。 | | コマ：10 |
| 教学目的 | 1．時間について質問したり、答えたりできる；  2．文法知識を身につけること；  3．よく使う単語を正しく使えるように；  4．文を通じて新しい表現を覚えると同時に日本語の能力を高めること。 | |
| 教学重点 | 1．文型「へ/に行きます」、「～から～までどのぐらいかかりますか」。  2．「で」、「に」の使い方  3．会話の内容 | |
| 教学難点 | 1．「ごろ」と「ぐらい」の使い分け；  2．「～年」「～月」「～日」「～曜日」などを言えること。 | |
| 教学方法 | 教授法、グループディスカッション、練習法 | |
| 講義タイプ | 新しい講義内容、練習訓練 | |
| 講義プロセス | 一、ワォーミングアップ：  新鮮な日本語の材料を利用してちょっと聴解、会話の総合練習をして、授業を導入する。  二、新しい講義の内容を解説する。 1．本課の新しい言葉の勉強、難しい言葉を強調に説明する。 2．文法と文型を解説し、学生に日常での表現で例文を作らせる。  3．文法の説明とともにテキストの関係練習をやってもらう。 4．中文日訳の練習を共同にやる。  三、宿題  1．重要な表現と文型で文を作る。 2．テキストの前文と会話文を覚える。  3．宿題をチェックの上もっと説明する内容を改めて説明する。 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題：第六課　一緒に飲みませんか。 | | コマ：10 |
| 教学目的 | 1．語用技能を身につけること；  2．文法知識を身につけること；  3．よく使う単語を正しく使えるように；  4．文を通じて新しい表現を覚えると同時に日本語の能力を高めること。 | |
| 教学重点 | 1．文型「～ませんか」、「～をください」「～と（一緒に）」。  2．「で」、「を」の使い方  3．会話の内容 | |
| 教学難点 | 助数詞の使い方 | |
| 教学方法 | 教授法、グループディスカッション、練習法 | |
| 講義タイプ | 新しい講義内容、練習訓練 | |
| 講義プロセス | 一、ワォーミングアップ：  新鮮な日本語の材料を利用してちょっと聴解、会話の総合練習をして、授業を導入する。  二、新しい講義の内容を解説する。 1．本課の新しい言葉の勉強、難しい言葉を強調に説明する。 2．文法と文型を解説し、学生に日常での表現で例文を作らせる。  3．文法の説明とともにテキストの関係練習をやってもらう。 4．中文日訳の練習を共同にやる。  三、宿題  1．重要な表現と文型で文を作る。 2．テキストの前文と会話文を覚える。  3．宿題をチェックの上もっと説明する内容を改めて説明する。 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題：第七課　出張はいかがでしたか。 | | コマ：10 |
| 教学目的 | 1．形容詞と形容動詞を使い分けること；  2．文法知識を身につけること；  3．よく使う単語を正しく使えるように；  4．文を通じて新しい表現を覚えると同時に日本語の能力を高めること。 | |
| 教学重点 | 1．文型「あまり～ない」、「どう・いかが」。  2．「の」の使い方  3．会話の内容 | |
| 教学難点 | 1．形容詞（現在・過去）・形容動詞（現在・過去）の正しく使い方；  2．形容詞と形容動詞の接続を理解させて、身につけさせる。 | |
| 教学方法 | 教授法、グループディスカッション、練習法 | |
| 講義タイプ | 新しい講義内容、練習訓練 | |
| 講義プロセス | 一、ワォーミングアップ：  新鮮な日本語の材料を利用してちょっと聴解、会話の総合練習をして、授業を導入する。  二、新しい講義の内容を解説する。 1．本課の新しい言葉の勉強、難しい言葉を強調に説明する。 2．文法と文型を解説し、学生に日常での表現で例文を作らせる。  3．文法の説明とともにテキストの関係練習をやってもらう。 4．中文日訳の練習を共同にやる。  三、宿題  1．重要な表現と文型で文を作る。 2．テキストの会話文を覚える。  3．宿題をチェックの上もっと説明する内容を改めて説明する。 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題：第八課　どちらが広いですか。 | | コマ：10 |
| 教学目的 | 1．物を比較することができる；  2．文法知識を身につけること；  3．よく使う単語を正しく使えるように；  4．文を通じて新しい表現を覚えると同時に日本語の能力を高めること。 | |
| 教学重点 | 1．文型「～と～とどちらが～ですか」、「～（の中）で～がいちばん～ですか」、「ですから（だから）」。  2．「いつも」「よく」「時々」などの副詞の使い方；  3．会話の内容 | |
| 教学難点 | 1．比較文法（より、ほど）の使い方；  2．「～は～が～です」の好き嫌いや趣味などを言えること。 | |
| 教学方法 | 教授法、グループディスカッション、練習法 | |
| 講義タイプ | 新しい講義内容、練習訓練 | |
| 講義プロセス | 一、ワォーミングアップ：  新鮮な日本語の材料を利用してちょっと聴解、会話の総合練習をして、授業を導入する。  二、新しい講義の内容を解説する。 1．本課の新しい言葉の勉強、難しい言葉を強調に説明する。 2．文法と文型を解説し、学生に日常での表現で例文を作らせる。  3．文法の説明とともにテキストの関係練習をやってもらう。 4．中文日訳の練習を共同にやる。  三、宿題  1．重要な表現と文型で文を作る。 2．テキストの会話文を覚える。  3．宿題をチェックの上もっと説明する内容を改めて説明する。 | |
| まとめ | 教学重点・難点：  １、数字の読み方  ２、形容詞・形容動詞・名詞の丁寧形の肯定と否定  ３、他動詞の使い方  ユニットのまとめ：  数字の読み方は難点ですから、学生が繰り返し練習する必要があります。学生は他動詞と自動詞の特徴を一応理解して、動詞の述語文の使い方を把握することができます。このユニットは形容詞と形容詞に接触し始めますから、肯定表現と否定表現について重視して記憶することが必要です。学生は日本語という言葉の特徴をだんだん知ってきて、興味を深めています。 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題：第九課　新しいパソコンを買いに行きます。 | | コマ：10 |
| 教学目的 | 1．物のやりもらい表現ができる；  2．文法知識を身につけること；  3．よく使う単語を正しく使えるように；  4．文を通じて新しい表現を覚えると同時に日本語の能力を高めること。 | |
| 教学重点 | 1．文型「～へ～に行きます/来ます/帰ります/戻ります」、「に/へ/から/まで/と/で＋は/も」。  2．「は」「が」「て/ で」の使い方；  3．「～がほしいです」「～を/へ/に～たいです」などの希望・願望の表現ができる。  4．会話の内容 | |
| 教学難点 | 「～は～に～をあげます」、「～は～に/から～をもらいます」などの受授動詞の使い方を身につけさせること。 | |
| 教学方法 | 教授法、グループディスカッション、練習法 | |
| 講義タイプ | 新しい講義内容、練習訓練 | |
| 講義プロセス | 一、ワォーミングアップ：  新鮮な日本語の材料を利用してちょっと聴解、会話の総合練習をして、授業を導入する。  二、新しい講義の内容を解説する。 1．本課の新しい言葉の勉強、難しい言葉を強調に説明する。 2．文法と文型を解説し、学生に日常での表現で例文を作らせる。  3．文法の説明とともにテキストの関係練習をやってもらう。 4．中文日訳の練習を共同にやる。  三、宿題  1．重要な表現と文型で文を作る。 2．テキストの前文と会話文を覚える。  3．宿題をチェックの上もっと説明する内容を改めて説明する。 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題：第十課　会議室を予約してください。 | | コマ：10 |
| 教学目的 | 1．動詞持続体を身につけること；  2．文法知識を身につけること；  3．よく使う単語を正しく使えるように；  4．文を通じて新しい表現を覚えると同時に日本語の能力を高めること。 | |
| 教学重点 | 1．文型「～て/でください」、「～て/でもいいです」、「～て/ではいけません」、「～ましょうか」。  2．「で」の使い方；  3．会話の内容 | |
| 教学難点 | 「～て/でいます」の使い方を身につけさせること。 | |
| 教学方法 | 教授法、グループディスカッション、練習法 | |
| 講義タイプ | 新しい講義内容、練習訓練 | |
| 講義プロセス | 一、ワォーミングアップ：  新鮮な日本語の材料を利用してちょっと聴解、会話の総合練習をして、授業を導入する。  二、新しい講義の内容を解説する。 1．本課の新しい言葉の勉強、難しい言葉を強調に説明する。 2．文法と文型を解説し、学生に日常での表現で例文を作らせる。  3．文法の説明とともにテキストの関係練習をやってもらう。 4．中文日訳の練習を共同にやる。  三、宿題  1．重要な表現と文型で文を作る。 2．テキストの前文と会話文を覚える。  3．宿題をチェックの上もっと説明する内容を改めて説明する。 | |
| まとめ | 教学重点・難点：  １、願望の表現  ２、授受動詞の使い方  ３、動詞持続体の意味  ユニットのまとめ：  用言の変化が多くなり、学生がよく間違えます。授受動詞の物の授受がよくないので、動詞持続体の運用の場合が分かりません。授受動詞の使い方がよく分かりません。期末に近づいて、学習意欲は高くないです。態度はあまり真面目ではありません。 | |